

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 6 月 22 日(2023.6.22)

【公開番号】特開 2021-51725(P2021-51725A)
【公開日】令和 3 年 4 月 1 日(2021.4.1)
【年通号数】公開・登録公報 2021-016
【出願番号】特願 2020-104632(P2020-104632)
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/04886(2022.01)

10

H 0 4 N 1/00(2006.01)

B 4 1 J 29/42(2006.01)

B 4 1 J 29/38(2006.01)

B 4 1 J 29/00(2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/0488160

H 0 4 N 1/00 350

B 4 1 J 29/42 F

B 4 1 J 29/38 202

B 4 1 J 29/00 Z

20

B 4 1 J 29/38 203

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 14 日(2023.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

画像処理装置の機能に関するボタンを所定の画面に表示する表示制御手段を備え、
前記表示制御手段は、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領域が選択された
場合、前記機能に関する処理を実行し、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領
域とは異なる第二領域が選択された場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示するこ
とを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記ボタンには、さらに前記機能に関する設定値が紐づいており、前記表示制御手段は、
前記第一領域が選択された場合、前記機能に関する処理を前記設定値に基づいて実行し、
前記第二領域が選択された場合、前記処理の設定画面を前記設定値が反映された状態で表
示する

40

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記第一領域が選択された場合、前記機能に関する処理を初期設定
値に基づいて実行し、前記第二領域が選択された場合、前記処理の設定画面を前記初期値
が反映された状態で表示する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記ボタンは複数の領域に分割されている

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

50

【請求項 5】

前記表示制御手段は、前記ボタンが選択された領域を判定する判定手段を備え、
前記ボタンの第一領域が選択されたと判定した場合、前記機能に関する処理を実行し、前記第二領域が選択されたと判定した場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記第一領域には、前記機能に関する処理を実行することを示す画像が表示されることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記第二領域には、前記機能に関する処理の設定画面を開くことを示す画像が表示されることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の画像処理装置。 10

【請求項 8】

前記第二領域には、前記機能に関する処理の設定値が表示されることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記ボタンは、前記機能に関する処理の設定値の項目ごとに領域が分割されることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記機能に関する処理の設定画面において設定値の変更が可能であることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の画像処理装置。 20

【請求項 11】

前記ボタンは前記画像処理装置の機能を用いるアプリケーションを呼び出すボタンである
ことを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

前記ボタンが押下された場合であり、かつ前記押下された位置の近傍に複数の領域が含まれる場合、所定の処理を行う
ことを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 13】

前記所定の処理とは、前記複数の領域の中から一つの領域を選択させるダイアログを表示する処理である
ことを特徴とする請求項 12 に記載の画像処理装置。 30

【請求項 14】

前記画像処理装置は、前記ボタンに関する情報であるボタン情報をさらに有し、
前記表示制御手段は、前記ボタン情報が、前記機能に関する処理の設定値が紐づくボタン情報である場合、複数の領域で構成されるボタンを表示し、前記機能に関する設定値が紐づいていないボタン情報である場合、1つの領域で構成されるボタンを表示する
ことを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 15】

画像処理装置の機能に関するボタンを表示する表示制御手段を備え、
前記表示制御手段は、前記ボタンに対する操作が、第一のボタン操作である場合、前記機能に関する処理を実行し、第二のボタン操作である場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示する
ことを特徴とする画像処理装置。 40

【請求項 16】

前記画像処理装置は前記画像処理装置のユーザを認証する認証手段を更に有し、
前記認証手段で認証したユーザごとに、前記ボタン操作に対応する動作を指定することが可能である
ことを特徴とする請求項 15 に記載の画像処理装置。

【請求項 17】

前記ボタンには前記第一のボタン操作と、前記第二のボタン操作のうち少なくとも１つの操作を示す画像が示されている

ことを特徴とする請求項１５または１６に記載の画像処理装置。

【請求項１８】

前記ボタン操作とは、タップ操作、二本指タップ操作、長押し操作、ダブルタップ操作、ピンチアウト操作の少なくともいずれかを含む

ことを特徴とする請求項１５乃至１７のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項１９】

前記第一のボタン操作は、ダブルタップ操作であり、前記第二のボタン操作は、タップ操作であることを特徴とする請求項１５乃至１８のいずれか一項に記載の画像処理装置。

10

【請求項２０】

画像処理装置の制御方法であって、

前記画像処理装置の機能に関するボタンを所定の画面に表示する表示制御ステップを有し

、
前記表示制御ステップは、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領域が選択された場合、前記機能に関する処理を実行し、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領域とは異なる第二領域が選択された場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示することを特徴とする方法。

【請求項２１】

請求項２０に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

20

【請求項２２】

画像処理装置の制御方法であって、

前記画像処理装置の機能に関するボタンを表示する表示制御ステップを備え、

前記表示制御ステップは、前記ボタンに対する操作が、第一のボタン操作である場合、前記機能に関する処理を実行し、第二のボタン操作である場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示する

ことを特徴とする方法。

【請求項２３】

請求項２２に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正２】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

画像処理装置の機能に関するボタンを所定の画面に表示する表示制御手段を備え、

前記表示制御手段は、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領域が選択された場合、前記機能に関する処理を実行し、前記所定の画面に表示された前記ボタンの第一領域とは異なる第二領域が選択された場合、前記機能に関する処理の設定画面を表示することを特徴とする画像処理装置。

40